

保健体育科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて

☒ 知識及び技能	☒ 思考力、判断力、表現力等
運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付ける	運動についての自己の課題を発見し、解決に向けて思考・判断するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	・授業に積極的に取り組む生徒が多い。また、何事にも前向きに取り組もうとする。 ・自己の課題を発見し、他者と共有したり話し合ったり、お互いを高め合う姿勢を伸ばしたりすることが課題である。	・単元ごと運動の特性の理解を深めるために、学習カードを活用し、運動の仕方や特性、成り立ちについて自ら学び知識を深められるようにする。 ・授業中に ICT 機器を使用し、作戦ボードを使って班内で作戦や課題等を話し合う場面を設ける。	・授業開始時に実施 ・単元の中で適宜	ICT の活用により、主体的に課題解決に取り組む生徒が増加した。
第2学年	・授業に積極的に取り組む生徒は多いが、単元ごとに興味・関心の二極化が見られる傾向がある。 ☒ ・体力テストの結果では、女子は反復横跳び、男子は長座体前屈と立ち幅びが低い傾向にある。引き続き基礎体力をつけていく必要がある。 ・自己の課題を発見し、他者と共有したり話し合ったり、お互いを高め合う姿勢を伸ばしたりすることが課題である。 ☒	・単元ごと運動の特性を理解し、実技書などの教科書や ICT 機器に触れながらポイントをおさえ、見通しをもたせて授業に取り組ませる。 ・授業開始時に補強運動を取り入れ、基礎体力向上に取り組む場面を設ける。 ・授業の中で話し合いやお互いに見せ合ったり、教え合ったりする時間を設ける。	・授業開始時に実施 ・単元の中で適宜 ・単元の中で適宜	単元ごとに授業に見通しをもって取り組むことで生徒の興味・関心の二極化の改善につながったと感ずる。また、振り返り記述で課題が明確になったことで、解決策を具体的に明記できるようになった。
第3学年	・授業に主体的に取り組む生徒は多いが、単元ごとに興味・関心の二極化が見られる傾向まだある。 ☒ ・自己の課題を発見し、他者と共有したり話し合ったり、お互いを高め合う姿勢を伸ばしたりすることが課題と考える。 ☒	・学習カードを活用し、それぞれの運動の特性について見通しを持たせ取り組ませる。 ・ICT 機器を活用し、互いに運動の動画を撮影する。撮影した物を互いに見比べ、課題を合理的に解決するために話し合ったりする時間を設ける。 ・球技等のチームで取り組む種目を行う時は、作戦や課題等について班で意見交換をする時間を設ける。	・単元前に実施 ・単元の中で適宜 ・単元の中で適宜	グループで行う学習では、ICT 機器の活用により、課題の共有に役立つことができた。

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

- 1年 ICT 機器を使い、授業の振り返りを行う。タブレット上に保存することで学習した内容を振り返る。【重点:個別】
- 2年 授業の目当てや運動の仕方をタブレットに掲示して、授業の見通しがもてるように活用する。【重点:個別】
- 3年 互いに運動の姿を撮影し、動きを見比べることで、課題を解決する。【重点:協働】

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

授業前にアンケート、授業後に習熟度確認テストで ICT 機器を使用して行うことで、自ら課題を把握し、学びに向かう力の育成に図る。